

お知らせ

2024 年 3 月
成田国際空港株式会社

工事の品質確保に向けた取組みについて

当社では、2028 年度末の供用に向けて B 滑走路の延伸、C 滑走路の新設等の更なる機能強化事業の各種調査、準備工事を進めているところです。今般、今後発注する工事全般でダンピング受注を防止しつつ、工事の品質確保に向けた取組みを強化するため、以下の調達手続きの見直しを図ります。

① 低見積価格調査マニュアルの改正について

- ✓ ダンピング対策の徹底のため、低見積価格調査の基準価格の算出方法等、マニュアルの改正を行います。なお、詳細は、当社のホームページ(調達情報)をご確認ください。
(参考)https://www.naa.jp/jp/pinfo/pdf/youryou_10.pdf
- ✓ 改正後のマニュアルは、2024 年 4 月 1 日以降に見積書又は入札書を提出していただく案件に適用します。

② 新たな総合評価方式(施工体制評価型)の導入について

- ✓ 機能強化整備関連の大型工事において、ダンピング受注と工事の品質低下を防止するため、技術提案で VE 提案(施工上の工夫によるコスト削減)と工事の適正な品質を確保するための施工計画(施工体制等)を評価する施工体制評価型を導入します。
- ✓ 施工体制評価型は、2024 年 3 月 25 日に公告する C 滑走路北側トンネル整備工事等の機能強化整備の大型工事に適用します。
- ✓ 施工体制評価型を適用する案件では採用した VE 提案のコスト削減額を入札額に加算した上で低見積価格調査の対象者の判定を行います。なお、VE 提案によるコスト削減額と入札額の加算額が低見積価格調査の調査基準価格を上回る場合、低見積価格調査の対象外とします。

以上